

ICCAE

 **news**
No.32 2017.12.1

名古屋大学 農学国際教育協力研究センター ニュース

平成29年12月1日発行 通巻32号(年2回発行)

発行/名古屋大学 農学国際教育協力研究センター
〒464-8601 名古屋市千種区不老町

TEL 052-789-4225(受付) FAX 052-789-4222

<http://iccae.agr.nagoya-u.ac.jp/index.html>

e-mail:iccae@agr.nagoya-u.ac.jp

第17回オープンフォーラム 開催のお知らせ

農学国際教育協力研究センター(ICCAE)は、第17回オープンフォーラムを2018年3月3日(土)に名古屋大学農学部第12講義室において開催いたします。今回のフォーラムでは、ケニアにおいて2013年5月22日より実施している地球規模課題対応国際科学技術協力(SATREPS)「テラーメード育種と栽培技術開発のための稲作研究プロジェクト」の5年間の成果を報告するとともに、今後のアフリカにおける稲作発展のために必要な研究について議論する予定です。詳細については、近日中にセンターホームページ等でご案内いたします。多くの大学や研究機関からのご参加をお待ちしております。

オランダ・ワーゲニンゲン大学 研究センター(WUR)とJIS NASとのMOU調印

2017年6月13日に、九州大学東京オフィスにおいて、農学知的支援ネットワーク(JISNAS、事務局:名古屋大学農学国際教育協力研究センター)とオランダ・ワーゲニンゲン大学研究センター(WUR)との間の「アジアにおける農学研究および高等教育の国際協力強化を図るための長期的協力に関する覚書」(MOU)の調印式を行いました。WURよりアルヨ・ロットハイス国際部アジア担当マネージャー、JISNAS側は緒方一夫運営委員長(九州大学・副学

長/熱帯農学研究センター・教授)、山内章副運営委員長(農学国際教育協力研究センター・センター長/大学院生命農学研究科・教授)、江原宏事務局長(農学国際教育協力研究センター・教授)、吉松隆夫運営委員(三重大学・学長補佐/大学院生物資源学研究科・教授)、中島千晴国際研究分科会幹事(三重大学大学院生物資源学研究科・准教授)が出席し、MOUを締結しました。

WURは、大学と公的農業試験場を集約して設立、研究開発の効率化が図られた機関です。農作物の輸出額世界第2位を保持するオランダのフードバレーの中心にあり、産学官が連携して世界最先端の研究を行っています。QS世界大学専攻分野ランキングでは、農学・森林学分野において世界第1位を誇っています。JISNASでは、2016年4月に農林水産省農林水産技術会議事務局の仲立ちにより、日本とオランダの二国間における農学分野の若手研究者交流等についての意見交換を始め、WURとJISNASの間でMOUを締結することを前提に協議を行うことに合意しました。2017年3月にはミャンマー国ヤンゴン工科大学JICAプロジェクトオフィスにて連携方針、特に日蘭が第三国、具体的には当面はミャンマーを加えて3カ国での研究教育交流を図ることについて打合せを行いました。2017年11月23日には、ロットハイス博士を名古屋大学に迎え、縄田栄治JISNAS国際研究分科会長(京都大学大学院農学研究科長・教授)、江原事務局長、吉松運営委員、中島国際研究分科会幹事と連絡会議を開き、2018年の早い時期にJISNAS-WURジョイントセミナー・ワークショップをミャンマーのイエジン農業大学において開催することを協議しました。今後、国際共同研究の実施と、研究ベースの教育による若手研究者の育成のために日蘭協力を進めていきます。

(江原 宏)



JISNASとWURとのMOU調印式

(前列左よりロットハイスWUR国際部アジア担当マネージャー、緒方JISNAS運営委員長、後列左より吉松運営委員、山内副運営委員長、江原事務局長、中島国際研究分科会幹事)